

大気環境化学論分野

Atmospheric Chemistry Research Group

越境大気汚染問題

光化学オキシダント問題

大気酸性化メカニズム解明

発展途上国の大気観測と排出量推定

大気質の精密将来予測

具体的な研究内容

- ・光化学オキシダントの生成機構解明と制御戦略
自動車排気ガス、植物VOCの精密測定
- ・超微量反応性大気成分測定装置開発
レーザー分光法、質量分析法
- ・大気汚染物質長距離輸送過程の研究
野外観測：沖縄辺戸岬、八方、母子里、小笠原

BEACHON-ROCS 2010

(Rocky Mountain Organic Carbon Study)



NCAR, Tokyo Met. Univ.

Univ. Wisconsin, SUNY

Univ. Houston, Univ. Innsbruck

我々の目指すこと

少しでもきれいな大気を
次の世代に残すこと

学生の人数

D2(1人)、M2(3人)、M1(1人)、B4(1人)

参加学会

日本化学会、大気環境学会、大気化学研究会、光化学協会、
American Chemical Societyなど

2014年花見

年間行事

4月 花見
7月 暑気払い(バーベキュー)
7～8月 夏季集中大気観測(農工大)
9月 研究室旅行
9～11月 学会シーズン
12月 大掃除と忘年会
1～3月 卒業に向けて



2014年集中観測(和歌山)

